

お銀はいつもお風呂に入っている

水戸黄門

「水戸黄門がおもしろい」

授業のため早めに教室に行くと、暖房機のあたりで生徒が集まって話していた。

「水戸黄門なんて知らない」に対して、「お銀という女の人がでてきてさあ、いつもお風呂に入ってる…」と一生懸命説明している生徒がいた。



お銀

『水戸黄門』とは徳川光圀を描いたテレビドラマである。

勧善懲悪でワンパターンの筋書き。それゆえ人気があったという。少し前にラジオでもこの話が流れていたが、「番組 20 分過ぎてから見始めてもストーリーについていける」という通りの通である。

1969 年から 2019 年まで光圀を演じる役者を 6 人代替わりさせながら TBS で放送された。武田鉄矢が光圀を演じ、浅野温子がゲストに登場した回では、猛進してくる大八車を身をもって遮る光圀が「僕は死にません！」と叫んだのが話題となった（これは武田と浅野の人気ドラマ『101 回目のプロポーズ』のパロディだった）。



水戸黄門

鬼平犯科帳

30 年くらい前の生徒に、『鬼平犯科帳』が好きな女子がいた。彼女の担任は菅野先生という日本史の先生で、その先生のところにはしばしば『鬼平』の話をしに来ていた。菅野先生と私は背中合わせの席だったので、よくその話を聞いていた。

『鬼平犯科帳』とは池波正太郎が書いた江戸時代を舞台にした小説である。実在の人物である火付盗賊改方（ひつけとうぞくあらためがた）長官・長谷川平蔵を主人公とする捕物帳で、火付盗賊改は重罪である火付け、盗賊、賭博を、町奉行から独立して取り締ま

っていた。

「鬼平」は「鬼の平蔵」からくる。長谷川平蔵は盗賊たちに「鬼」と恐れられていた。

昔、『水戸黄門』『大岡越前』『銭形平次』『遠山の金さん』『暴れん坊将軍』と時代劇はたくさんあった。その多くが「勧善懲悪」で単純。あえていえば「うすっぺら」だったが、『鬼平犯科帳』は江戸時代の生活、風俗、社会を細やかに描いていたし、池波正太郎が食通だったこともあり、食の場面も丁寧だった。平蔵は「密偵」と称する捜査のためのスパイを従えているのだが、その密偵がアジトにしている「五鉄」という飲み屋で、平蔵は「軍鶏鍋（しゃもなべ）」を食べながら酒を飲む。軍鶏鍋とは鶏の一種である軍鶏を使った鍋料理である。その食べっぷり、飲みっぷりが、実にカッコよく、おもしろそうだった。

そしてなにより、人生の悲哀や人の弱さを考えさせられるような心にしみるドラマだった。見た後に胸に残るものが必ずあった。長谷川平蔵を演じたのは歌舞伎役者で人間国宝の二代目中村吉右衛門（1944～2021）。粋で男のセクシーさがあったのも魅力だった。

中村吉右衛門がカッコよく好きだったので、二子が生まれるとき、男子だったら「吉右衛門」と名付けようとしていたが、女子だった。彼女にそのことを話し、「佐藤吉右衛門なんてカッコよかったのにと話すと、「絶対あり得ない！」といわれる。

いつからか時代劇がテレビから少なくなってきた、若い世代は江戸時代をイメージできないようだ。「与力」「岡っ引き」「十手」「八丁堀」、知らないと思う。『忠臣蔵』などいうまでもない。



長谷川平蔵 (中村吉右衛門)

歴史のことがら

かく言う私たちの「歴史の常識」も今は違っていることが多い。「土農工商」も「参勤交代」も私たちが習った歴史の評価は通用しないそうで、「武士に許されていた名字帯刀」も帯刀は武士以外にも許されていたそう。学問はバージョンアップされている。

ライブラリーストリートに置いている科学雑誌『Newton』の最新号に「時間はなぜ戻らないのか？」としてタイムトラベルについての記事があった。そこに「タイムトラベルはできない」とあったが、江戸時代にタイムトラベルしてしまったら、私はそこで生きられないと思う。自然や科学の知識はあっても、それを生かす技術がない。

「日本の伝統」とされている事柄には、文化の継承者たる天皇家のことも含めて明治以降の西洋文明やキリスト教文化が入ってきたからのもが多く、せいぜい 150 年もの。生活についても同様で、江戸期までは一日二食だったし、時刻も日の出・入りにより変動し一定の時を刻んでいなかった。

話は脇にそれるが、十数年前に親類を亡くしたとき、納棺に際し死者は死装束、あの世での旅に際して脚絆や草履、身を守るための短刀をそこに入れるのを見た。草履に脚絆など今まで身に付けたことがない上に、松尾芭蕉のような粗末な身支度で自分がいつかあの世に放たれるのであれば、絶対にこれはよして欲しいと思った。長旅をするのであれば頑丈な靴に雨風もしのげるような服装がいい。短刀より銃が欲しい。そもそも、偉大な科学者や技術者、産業を興した人たちが逝っているはずのあちらの世が、いまだに江戸時代のような世界であるはずがない。これは疑わしいと思った。

『鬼平犯科帳』は現在、月曜日 18:35 から BS フジで再放送されているので、興味を持った人はぜひ見て欲しい。

ほかにも、昔の時代劇を NHK がリメイクして放送している。加藤剛が演じ TBS で放送された『大岡越前』は東山紀之が演じ放送されていた。中村梅之助が演じ日テレで放送された『伝七捕物帖』は息子の中村梅雀が演じ放送されている。

『鬼平犯科帳』を書いた池波正太郎は今年生誕 100 年を迎える。

来年度のライブラリーストリートは、「池波正太郎生誕 100 年 歴史小説特集」から始めよう準備を進めているので期待してもらえるとありがたい！

そして、この先の春休み、ぜひ、なんらかの本に触れて欲しい。

(佐藤貴之)